

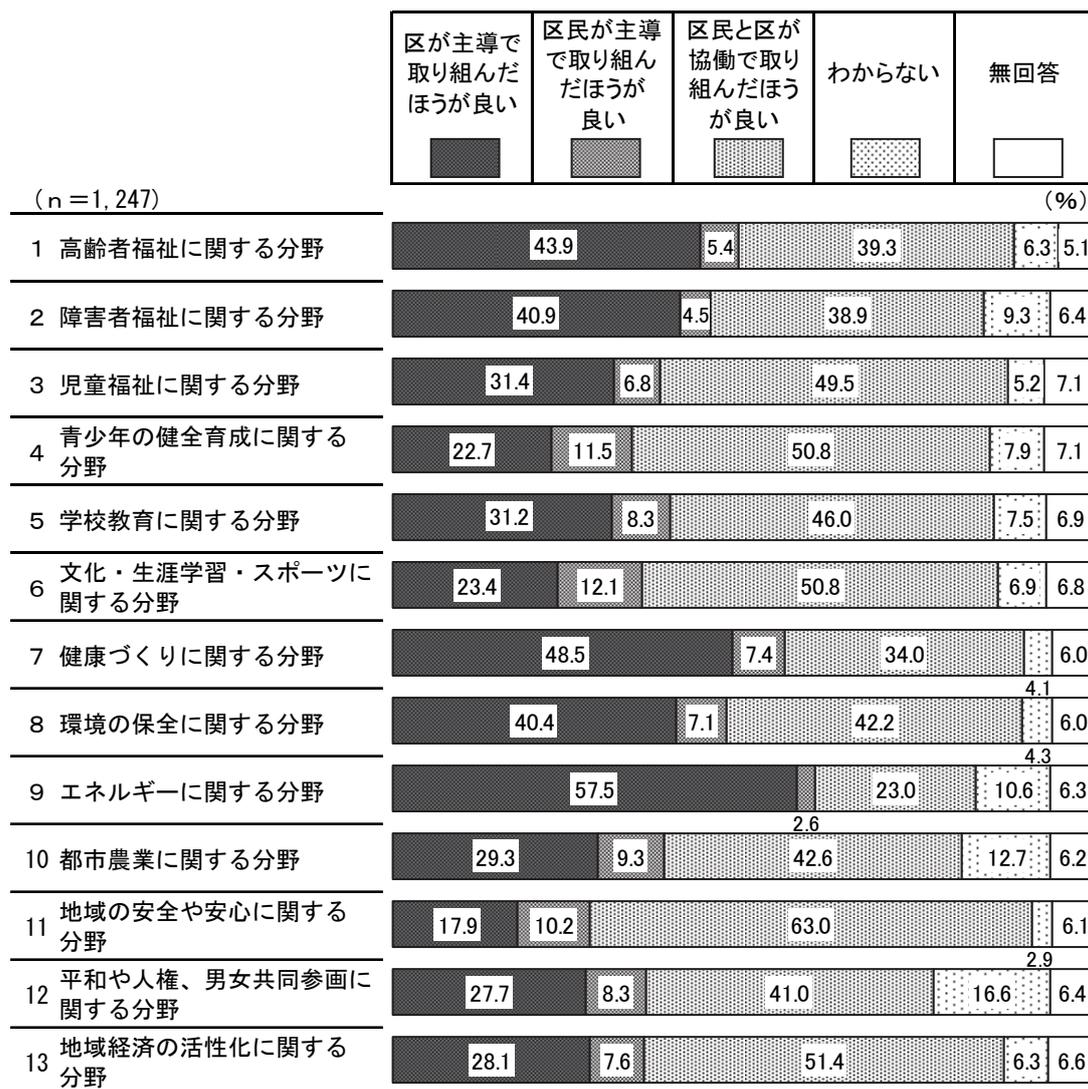
3 区民参加と協働について

(1) 各分野の取り組みについて

◇「区民と区が協働で取り組んだほうが良い」は「地域の安全や安心に関する分野」で6割を超える

問23 次の各分野の取り組みについて、どのように進めたほうが良いと思いますか。次の中からあなたの考え方に最も近いものを選んでください。(各項目 ○は1つ)

図3-1-1 各分野の取り組みについて



各分野の取り組みについて聞いたところ、「区民と区が協働で取り組んだほうが良い」は「地域の安全や安心に関する分野」(63.0%)で6割を超え多くなっている。「区民が主導で取り組んだほうが良い」は「文化・生涯学習・スポーツに関する分野」(12.1%)、「青少年の健全育成に関する分野」(11.5%)、「地域の安全や安心に関する分野」(10.2%)が1割台と他に比べ割合が高くなっている。「区が主導で取り組んだほうが良い」は「エネルギーに関する分野」(57.5%)で6割近くと多くなっている。

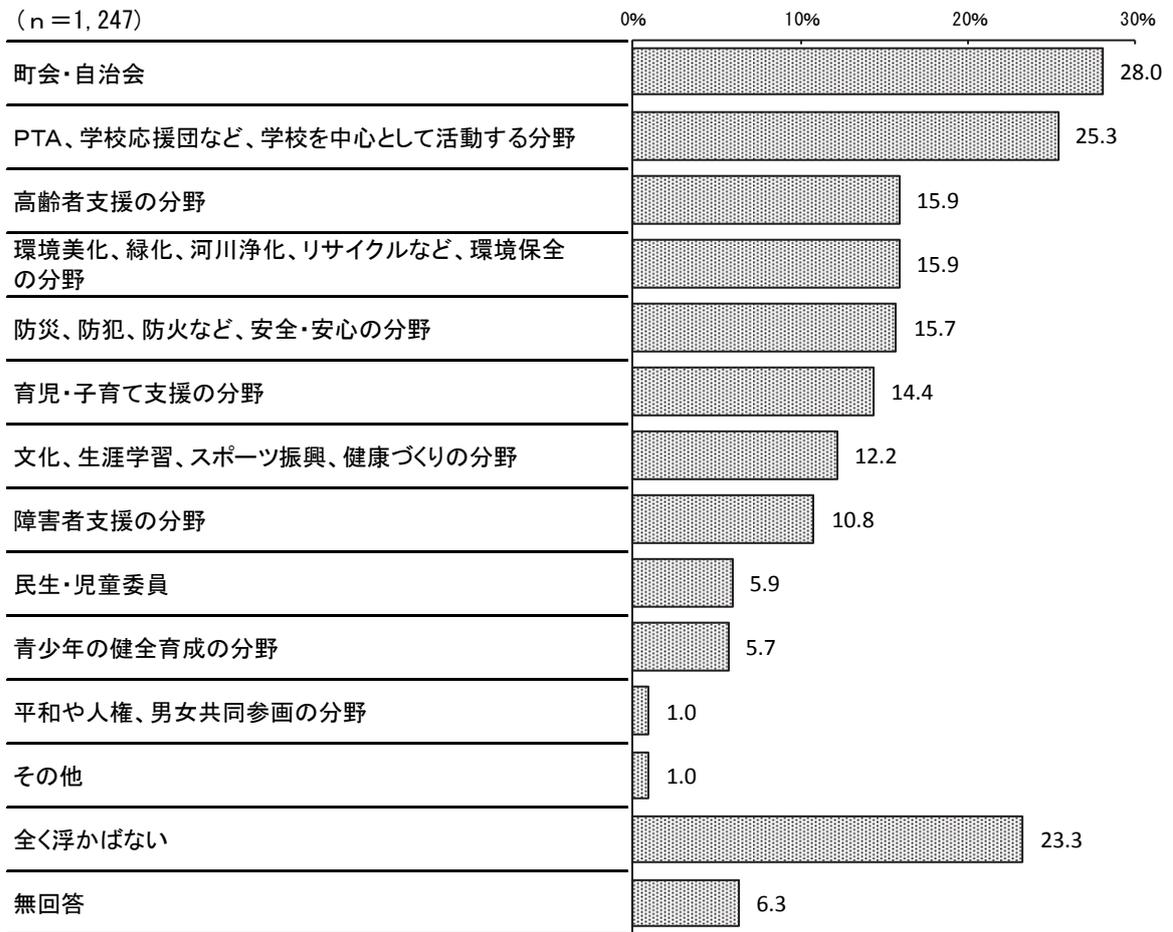
(図3-1-1)

(2) 地域の中で頑張っていると思う団体

◇「町会・自治会」が3割近く

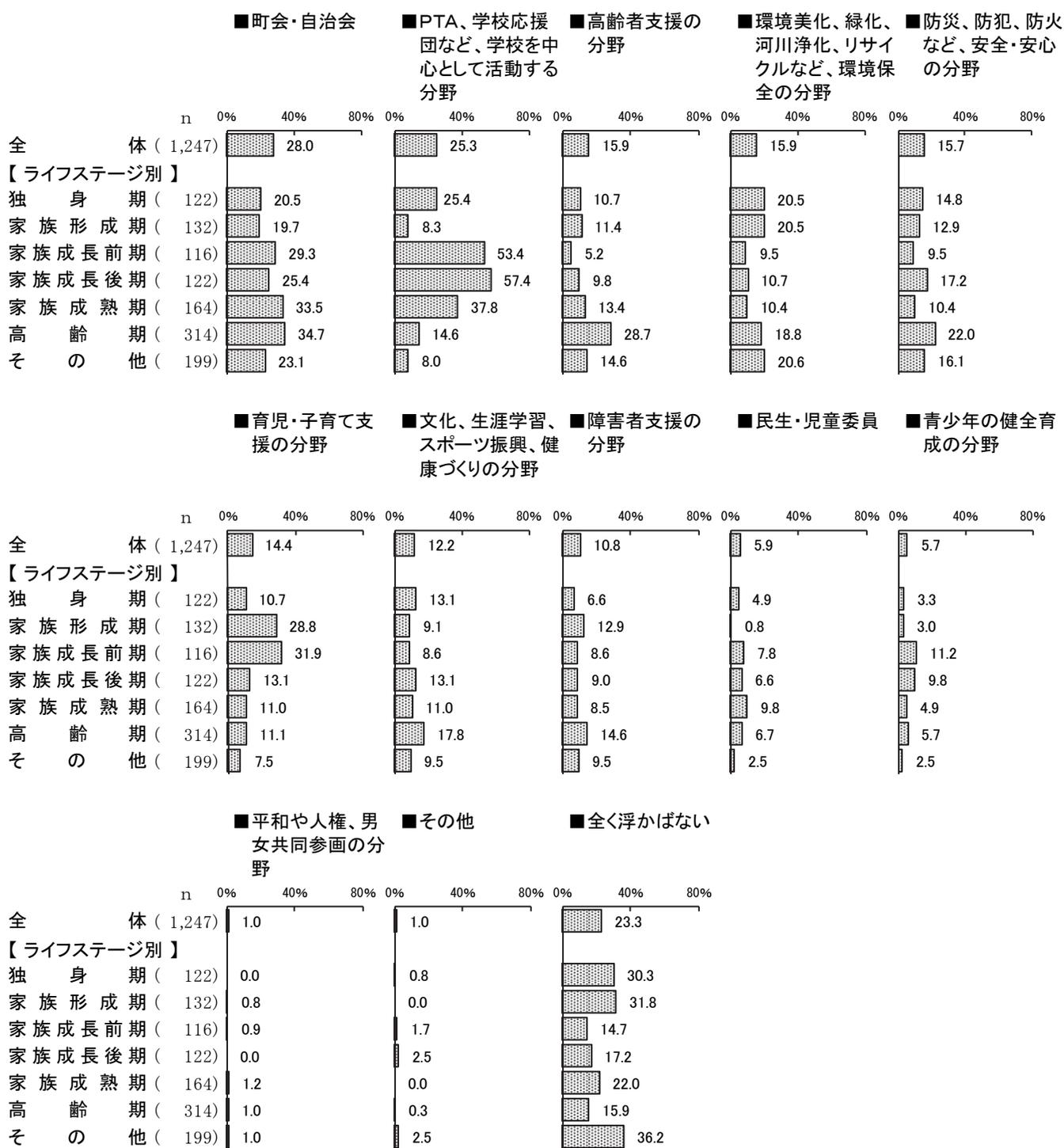
問24 地域の中で頑張っている団体として、あなたの頭に思い浮かぶのは、どの分野の団体ですか。(〇は3つまで)

図3-2-1 地域の中で頑張っていると思う団体



地域の中で頑張っていると思う団体について聞いたところ、「町会・自治会」(28.0%)が3割近くで最も多く、次いで「PTA、学校応援団など、学校を中心として活動する分野」(25.3%)、「高齢者支援の分野」「環境美化、緑化、河川浄化、リサイクルなど、環境保全の分野」(ともに15.9%)などの順になっている。(図3-2-1)

図3-2-2 地域の中で頑張っていると思う団体の分野—ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「PTA、学校応援団など、学校を中心として活動する分野」は家族成長後期で6割近く、家族成長前期で5割を超え多くなっている。また「町会・自治会」は家族成熟期と高齢期で、「育児・子育て支援の分野」は家族成長前期で、それぞれ3割台前半となっている。

(図3-2-2)

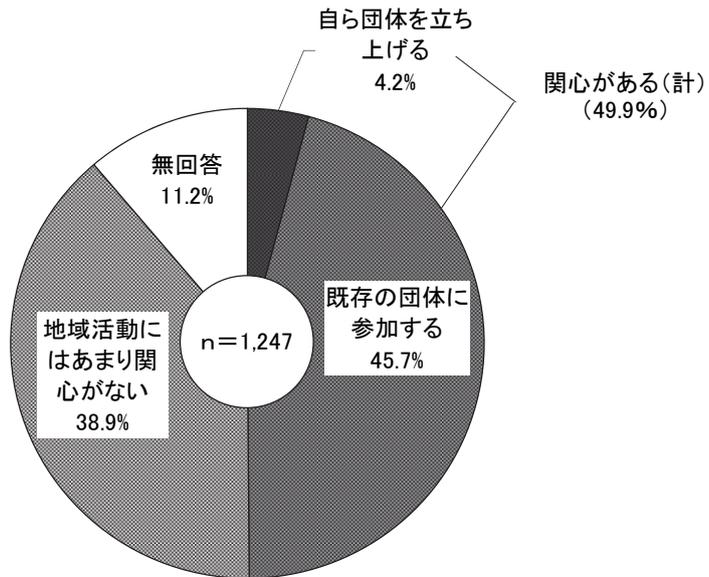
(3) 地域で活動を開始する方法

◇「既存の団体に参加する」が4割台半ば

問25 あなたが地域で活動を始めるとしたら、次のどちらの方法を選びますか。(現在、地域活動をしている方は、さらに新しい活動を始めの場合を想定して、お答えください)

(○は1つ)

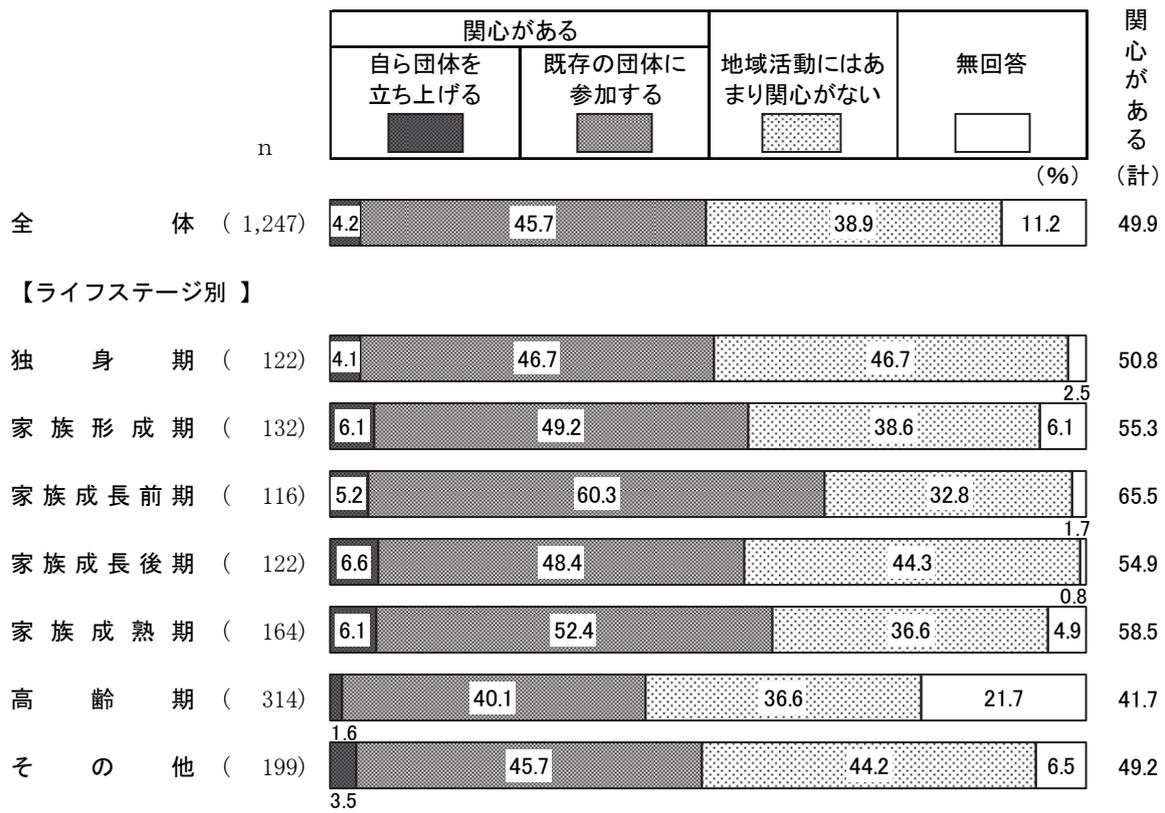
図3-3-1 地域で活動を開始する方法



地域で活動を開始する方法について聞いたところ、「既存の団体に参加する」(45.7%)が4割台半ばで最も多く、これに「自ら団体を立ち上げる」(4.2%)を合わせた『関心がある』(49.9%)は約5割となっている。一方、「地域活動にはあまり関心がない」(38.9%)は4割近くとなっている。

(図3-3-1)

図3-3-2 地域で活動を開始する方法—ライフステージ別



ライフステージ別にみると、家族成長前期で「既存の団体に参加する」が約6割と多く、これに「自ら団体を立ち上げる」を合わせた『関心がある』は6割台半ばとなっている。また、すべてのライフステージにおいて『関心がある』が「地域活動にはあまり関心がない」を上回っている。(図3-3-2)

(4-1) 団体を立ち上げる際の重要点

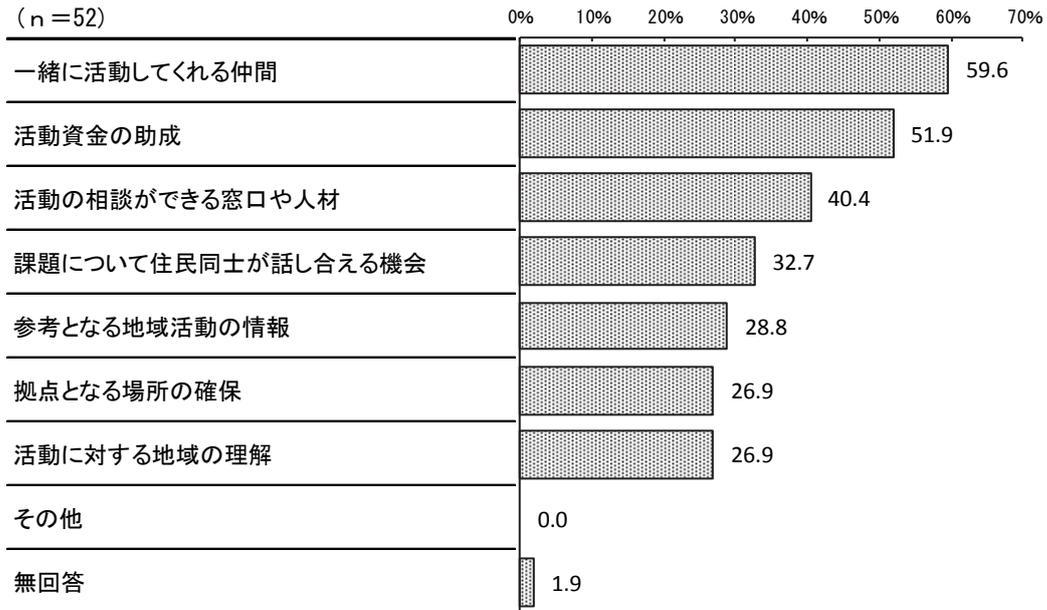
◇「一緒に活動してくれる仲間」が約6割

(問25で「1 自ら団体を立ち上げる」と答えた方へ)

問26-1 自らが団体を立ち上げる際に、あなたが重要だと思うものは何ですか。

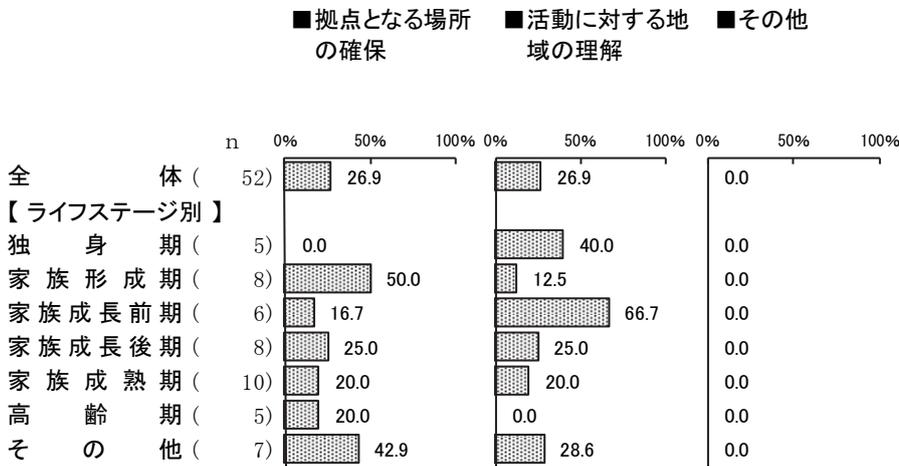
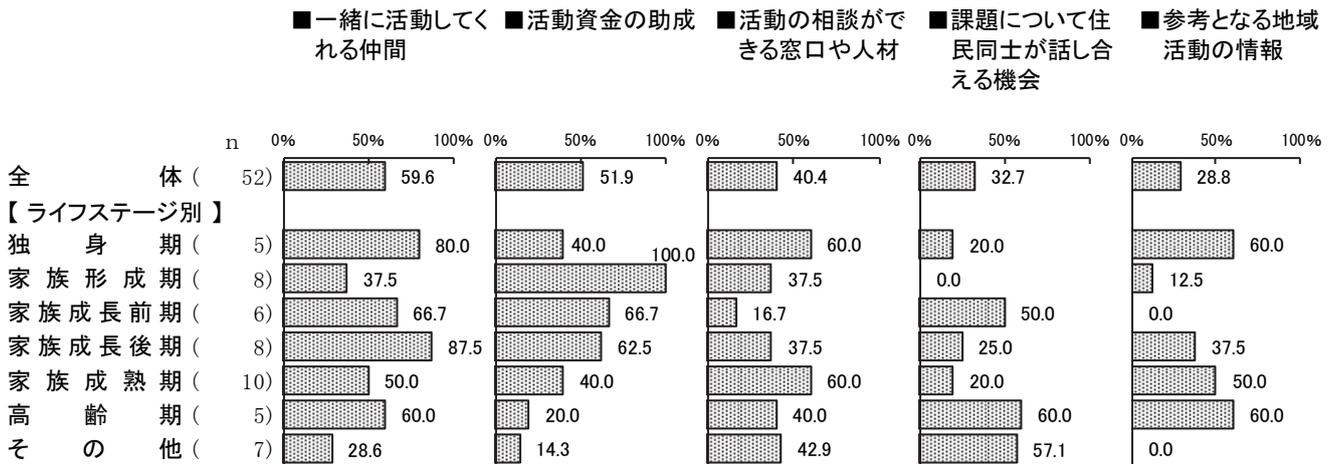
(○は3つまで)

図3-4-1 団体を立ち上げる際の重要点



地域で活動を始める方法として「自ら団体を立ち上げる」と答えた方(52人)に、その際の重要点を聞いたところ、「一緒に活動してくれる仲間」(59.6%)が約6割と最も多く、次いで「活動資金の助成」(51.9%)、「活動の相談ができる窓口や人材」(40.4%)、「課題について住民同士が話し合える機会」(32.7%)などの順になっている。(図3-4-1)

図3-4-2 団体を立ち上げる際の重要点－ライフステージ別



※基数が少ないため、参考までに図示のみとする。(図3-4-2)

(4-2) 既存の団体に参加する際の重要点

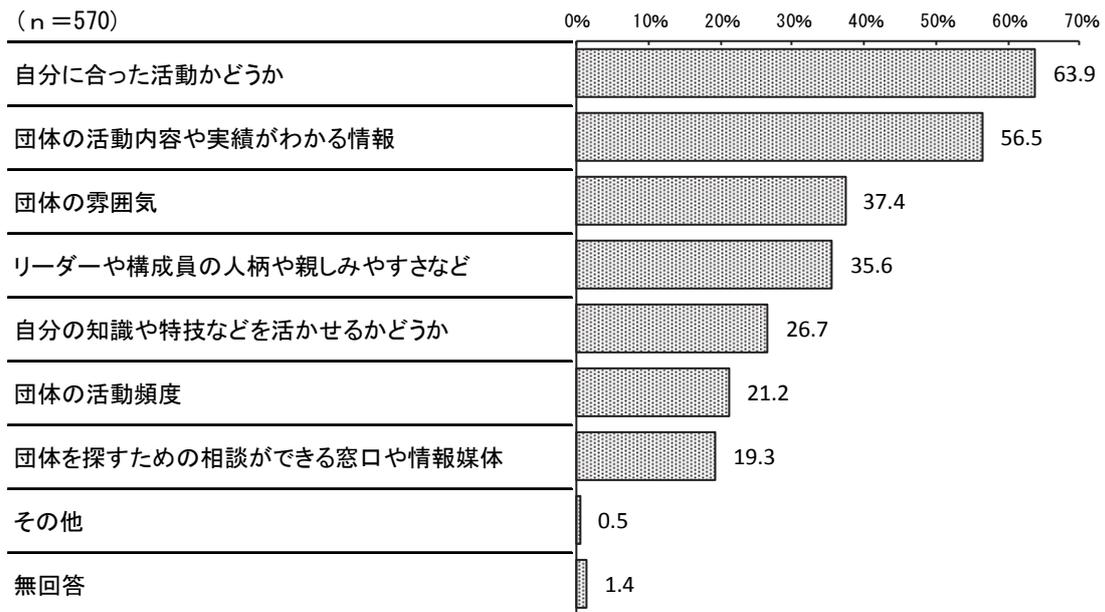
◇「自分に合った活動かどうか」が6割を超える

(問25で「2 既存の団体に参加する」と答えた方へ)

問26-2 既存の団体に参加する際に、あなたが重要だと思うものは何ですか。

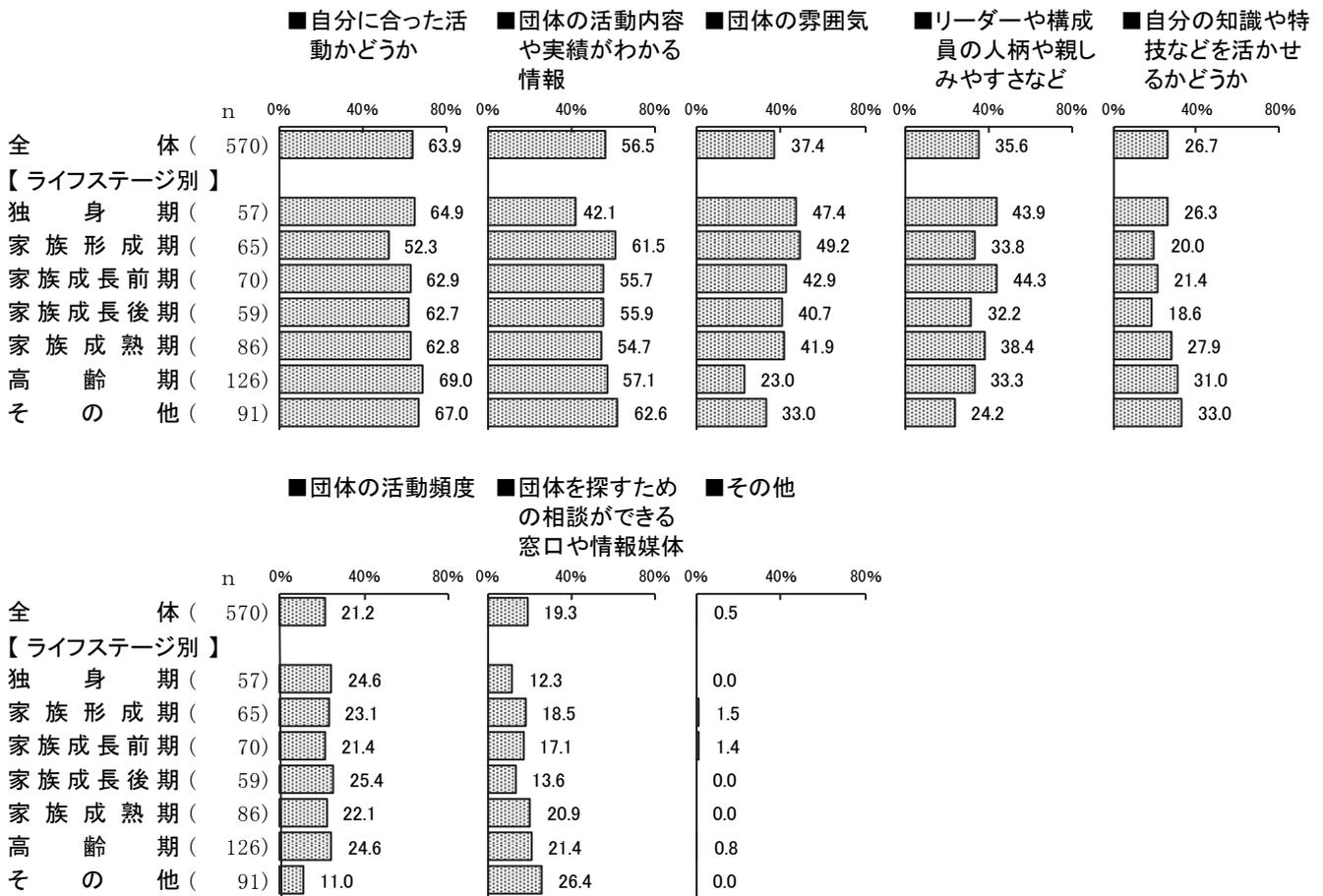
(○は3つまで)

図3-4-3 既存の団体に参加する際の重要点



地域で活動を始める方法として「既存の団体に参加する」と答えた方(570人)に、その際の重要点を聞いたところ、「自分に合った活動かどうか」(63.9%)が6割を超え最も多く、次いで「団体の活動内容や実績がわかる情報」(56.5%)、「団体の雰囲気」(37.4%)、「リーダーや構成員の人柄や親しみやすさなど」(35.6%)などの順になっている。(図3-4-3)

図3-4-4 既存の団体に参加する際の重要点－ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「自分に合った活動かどうか」はいずれも5割以上と多くなっている。また「団体の活動内容や実績がわかる情報」は独身期を除くいずれも5割以上と多くなっている。

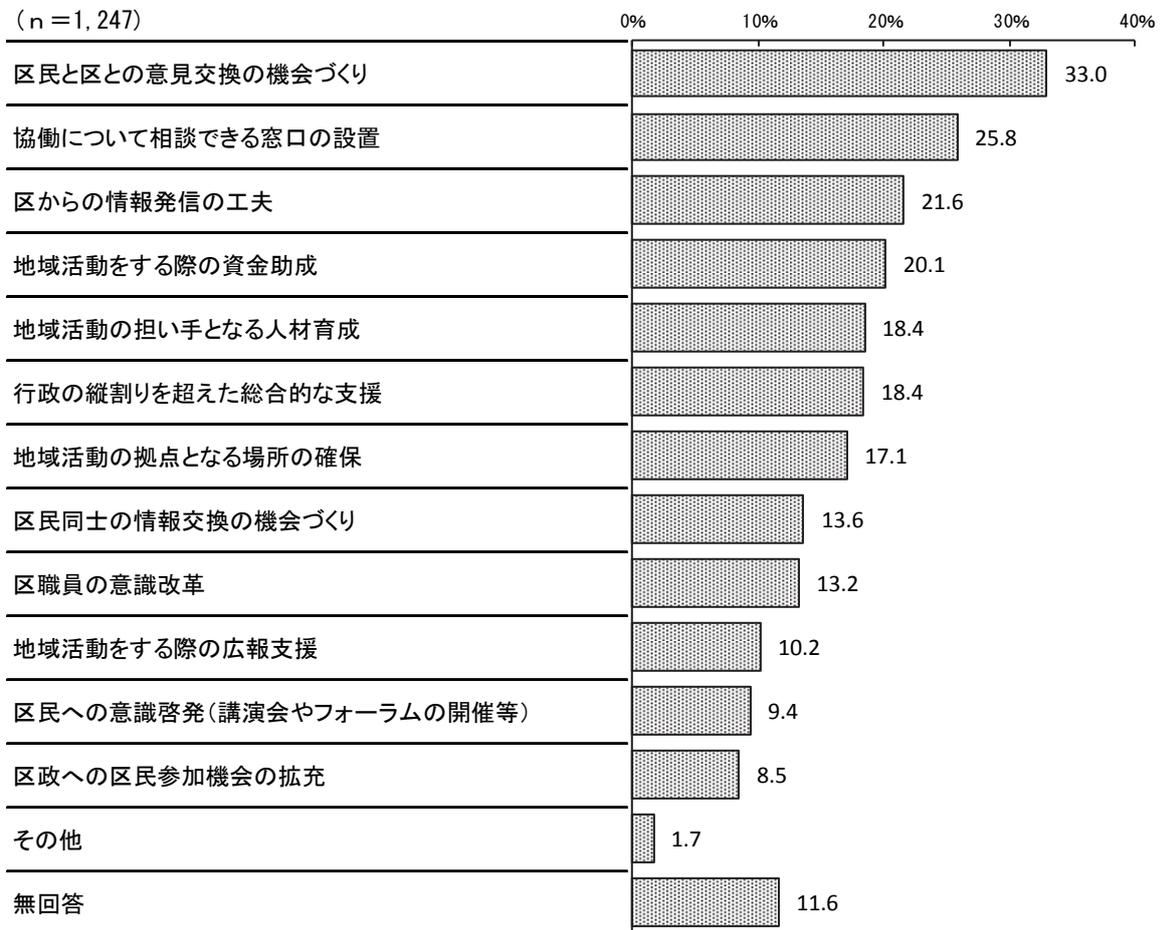
(図3-4-4)

(5) 協働を進めるうえで特に区に求めるもの

◇「区民と区との意見交換の機会づくり」が3割を超える

問27 協働を進めるうえで、あなたが、特に区に求めるものは何ですか。(〇は3つまで)

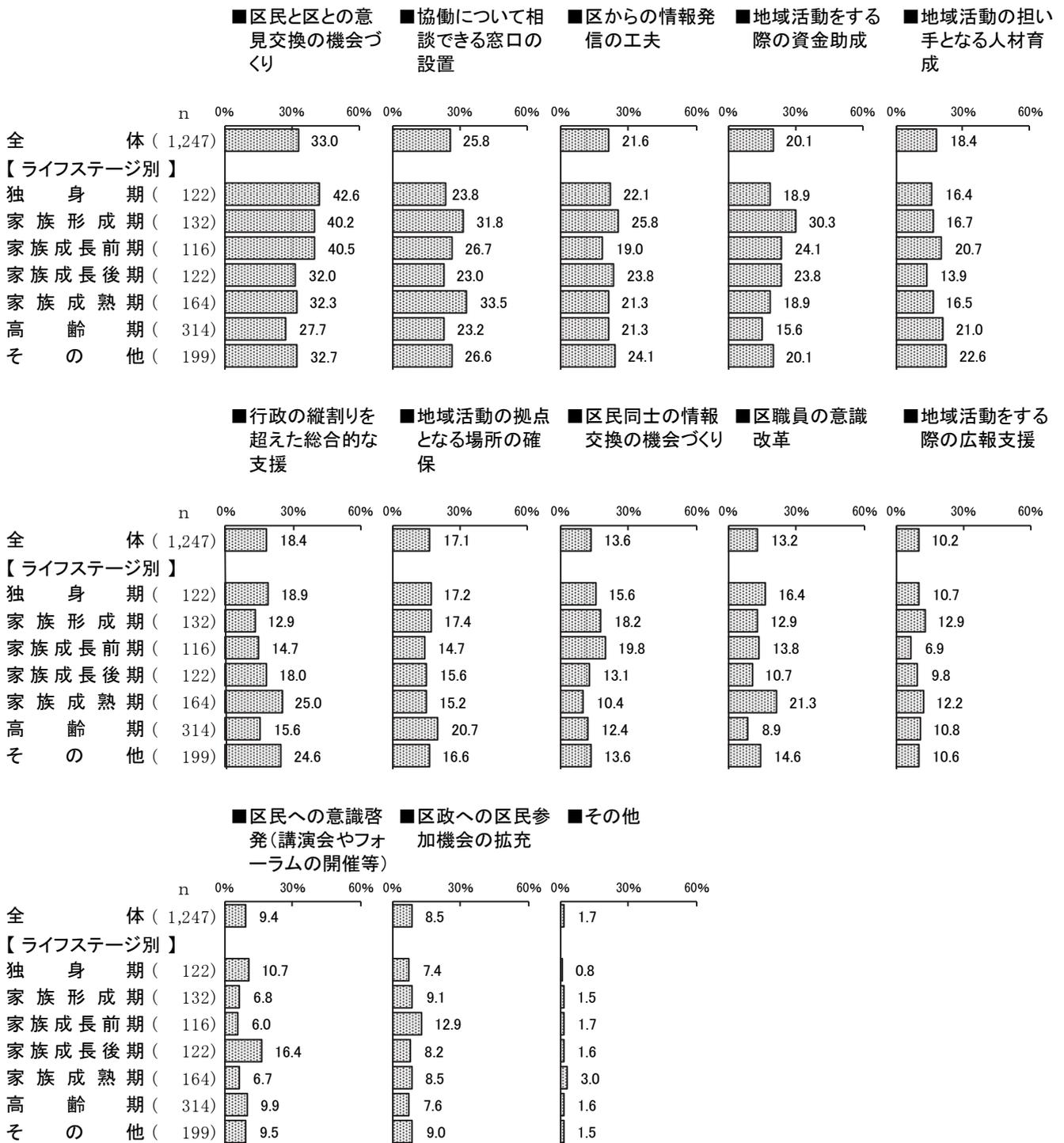
図3-5-1 協働を進めるうえで特に区に求めるもの



協働を進めるうえで特に区に求めるものを聞いたところ、「区民と区との意見交換の機会づくり」(33.0%)が3割を超え最も多く、次いで「協働について相談できる窓口の設置」(25.8%)、「区からの情報発信の工夫」(21.6%)、「地域活動をする際の資金助成」(20.1%)などの順になっている。

(図3-5-1)

図3-5-2 協働を進めるうえで、特に区に求めるもの—ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「区民と区との意見交換の機会づくり」は独身期と家族形成期と家族成長前期で4割台前半と多くなっている。「協働について相談できる窓口の設置」は家族形成期と家族成熟期で、「地域活動をする際の資金助成」は家族形成期でいずれも3割台前半と多くなっている。

(図3-5-2)